2026年9月期　決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名　　粧美堂株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　7819　　URL https://www.shobido-corp.co.jp/
代　　表　　者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 寺田　正秀
問合せ先責任者　(役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 斉藤　政基　(TEL) 03-3472-7890

定時株主総会開催予定日　2026年12月22日　配当支払開始予定日　2026年12月8日
有価証券報告書提出予定日　2026年12月21日
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　有　(　機関投資家・アナリスト向け　)

(百万円未満切捨て)

１．2026年9月期の連結業績（2025年10月1日～2026年9月30日）

（１）連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期	23,548	6.4	1,926	31.1	1,857	25.7	1,128	15.4
2025年9月期	22,122	5.7	1,469	45.5	1,478	52.7	977	26.4

(注) 包括利益　2026年9月期　1,214百万円(　1.2%)　2025年9月期　1,200百万円(　79.6%)

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年9月期	87.49	―	15.4	11.2	8.2
2025年9月期	74.03	―	14.0	9.6	6.6

(参考) 持分法投資損益　2026年9月期　―百万円　2025年9月期　―百万円

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年9月期	16,900	7,564	42.8	572.51
2025年9月期	16,321	7,810	45.5	561.58

(参考) 自己資本　2026年9月期　7,235百万円　2025年9月期　7,418百万円

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年9月期	1,399	△8	△664	5,091
2025年9月期	918	214	△507	4,329

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年9月期	―	11.50	―	16.50	28.00	369	37.8	5.3
2026年9月期	―	16.50	―	18.50	35.00	442	40.0	6.2
2027年9月期(予想)	―	19.00	―	19.00	38.00		40.0	

３．2027年9月期の連結業績予想（2026年10月1日～2027年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	25,000	6.2	2,100	9.0	1,980	6.6	1,200	6.4	94.96

(注) 年次で業績を管理しているため、通期業績予想のみ開示いたします

※　注記事項

（１）期中における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　―社　（社名）　　、除外　―社　（社名）

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期	13,410,000株	2025年9月期	13,410,000株
②　期末自己株式数	2026年9月期	772,626株	2025年9月期	200,227株
③　期中平均株式数	2026年9月期	12,893,940株	2025年9月期	13,209,773株

（参考）　個別業績の概要

１．2026年9月期の個別業績（2025年10月1日～2026年9月30日）

（１）個別経営成績　　（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期	21,632	5.6	1,425	18.2	1,451	7.4	1,012	15.8
2025年9月期	20,493	2.7	1,205	45.5	1,351	47.7	874	26.7

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期	78.51	―
2025年9月期	66.21	―

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年9月期	16,924	7,533	44.5	596.12
2025年9月期	16,069	7,693	47.9	582.44

（参考）自己資本　　2026年9月期　　7,533百万円　　2025年9月期　　7,693百万円

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）5ページ「１．経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 3
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 4
（４）今後の見通し …… 5
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 6
３．連結財務諸表及び主な注記 …… 7
（１）連結貸借対照表 …… 7
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 9
（３）連結株主資本等変動計算書 ……11
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 ……13
（５）連結財務諸表に関する注記事項 ……15
（継続企業の前提に関する注記） ……15
（表示方法の変更） ……15
（企業結合等関係） ……15
（セグメント情報等） ……16
（１株当たり情報） ……18
（重要な後発事象） ……18

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2025年10月１日～2026年９月30日）におけるわが国経済は、雇用環境の改善による所得の伸びなどを背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中東・ウクライナ情勢によるエネルギー価格の高騰やインフレ圧力の高まりなどが消費者マインドに影響を与え、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、企業経営を取り巻く環境は、原材料価格、人件費、物流費、市中金利の上昇に伴う金融費用の増加など、引き続き厳しい環境が続いています。

当連結会計年度においては、近年推進してきた商品戦略を中心とする施策を継続した結果、利益率が改善し、６期連続増収増益（営業利益ベース）、また前期に引き続き過去最高益を大幅に更新することができました。この利益成長を支えた主因は、「Only 粧美堂」にこだわったモノづくりの定着であると分析しております。具体的には、ＮＢ（ナショナルブランド）ビジネスでは、メイクツール、キャラクターコスメ、キッズコスメなど、「粧美堂と言えば」を象徴するカテゴリーに注力し、自社企画商品の総合的な商品力を強化することで、「粧美堂」ブランドの価値向上を図りました。

一方、ＰＢ（プライベートブランド）ビジネスでは、新たな生産協力拠点の開拓により、コスト削減・品質向上・商品カテゴリーの拡充を進め、重点販売先のニーズに的確に応えることで、「モノづくりのパートナー」としての地位を強化致しました。その結果、消費者からの支持が高まり、商品単価および利益率の上昇につながりました。

当連結会計年度の売上高は23,548,004千円（対前期比6.4％増）となり、売上総利益は8,023,919千円（同13.6％増）と増収増益を達成しました。

自社企画商品の好調や販売単価の上昇、高利益率のＥＣ販売の拡大により、売上総利益率は34.1％（対前期比2.2ポイント増）と大幅に改善致しました。販売費及び一般管理費は、テレビコマーシャルを含む大型プロモーション実施に伴う広告宣伝費や販売促進費の増加、物流費の増加、東京本社近隣のオフィススペースを確保したことによる賃借料の発生などにより6,097,482千円（対前期比9.0％増）となりましたが、売上総利益の増加により吸収し、営業利益は1,926,436千円（同31.1％増）、経常利益は1,857,283千円（同25.7％増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、ライセンス契約に関連する臨時的な費用73,278千円を特別損失に計上したこと等により、1,128,151千円（同15.4％増）となりました。

当社グループの事業セグメントは、「３．連結財務諸表及び主な注記 （５）連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおり、単一の事業セグメントでありますが、取扱い商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。

（化粧品）

当分類には、メイク関連化粧品、ネイル関連化粧品、ヘアケア関連化粧品などの売上が含まれます。当連結会計年度の売上高は、人気キャラクターや食品ＩＰをあしらったメイク関連化粧品が引き続き好調な事に加え、2026年９月にテレビコマーシャルを実施したＮＢのネイルをはじめネイル関連化粧品もＮＢ、ＰＢ両面で好調に推移、また株式会社ピコモンテ・ジャパンの化粧品売上の寄与もあり9,574,163千円（対前期比8.2％増）と増収となりました。

（化粧雑貨）

当分類には、メイク関連雑貨、ネイル関連雑貨、ヘアケア関連雑貨などの売上が含まれます。当連結会計年度の売上高は、ヘアケアやメイク関連ＮＢ商品、重点販売先向けのＰＢにてメイク関連雑貨が好調に推移しましたが、他社メーカー仕入商品の減少もあり全体としては6,967,299千円（対前期比0.1％減）と横ばいとなりました。

（コンタクトレンズ関連）

当分類には、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品の売上が含まれます。当連結会計年度の売上高は、クリアレンズの低価格サブスクビジネスやＥＣを通じたアニメキャラクターを活用したカラーコンタクトレンズは好調に推移しましたが、他社からのＯＥＭビジネスが低迷した影響で2,195,098千円（対前期比2.2％減）と減収となりました。

(服飾雑貨)

当分類には、バッグ、ポーチ・ケース、サイフ類、その他服飾小物などの売上が含まれます。当連結会計年度の売上高は、キャラクターをあしらった一部販売先向けのＰＢ商品がバッグ、ポーチ類を中心に好調に推移し3,199,853千円（対前期比14.6％増）と増収となりました。

(その他)

当分類には、ペット用品を含む生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト商品などの売上が含まれます。当連結会計年度の売上高は、大手ディスカウントストアとタイアップした限定品キャラクター商材が好調に推移した効果もあり1,611,590千円（対前期比28.1％増）と増収となりました。

（２）当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて579,130千円増加し、16,900,388千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて499,575千円増加し、12,658,489千円となりました。

これは主に、営業活動によるキャッシュ・フローの獲得等により現金及び預金が761,520千円増加したことに対し、商品が125,721千円、為替予約が70,571千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて79,555千円増加し、4,241,899千円となりました。

これは主に、割引率の見直しによる退職給付債務の減少により退職給付に係る資産が151,768千円、投資その他の資産のその他が106,010千円増加したことに対し、投資有価証券が244,604千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて825,255千円増加し、9,335,889千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて101,155千円減少し、5,858,614千円となりました。

これは主に、未払金が378,895千円増加したことに対し、電子記録債務が82,488千円、買掛金が70,423千円、未払法人税等が257,485千円、その他が77,192千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて926,411千円増加し、3,477,274千円となりました。

これは主に、長期借入金が868,631千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて246,124千円減少し、7,564,499千円となりました。

これは主に、利益剰余金が701,675千円増加したことに対し、連結子会社である株式会社ピコモンテ・ジャパンの株式を追加取得したこと等により資本剰余金が116,330千円減少したこと、自己株式が750,221千円増加したこと等によるものであります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は761,520千円増加し、5,091,467千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、1,399,849千円（対前期比52.5%増）となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益を1,784,005千円計上するとともに、減価償却費248,152千円、棚卸資産の減少172,843千円、未払金の増加200,298千円があったこと、退職給付に係る資産の増加△151,768千円、仕入債務の減少△107,286千円、法人税等の支払額△769,720千円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、8,177千円（前期は214,402千円の獲得）となりました。

これは主に、投資有価証券の償還による収入280,000千円があったこと、有形固定資産の取得による支出△167,571千円、差入保証金の差入による支出△100,726千円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、664,517千円（対前期比30.9%増）となりました。

これは主に、長期借入れによる収入2,500,000千円があったこと、長期借入金の返済による支出△1,679,857千円、自己株式の取得による支出△761,400千円、配当金の支払額△426,260千円、連結子会社である株式会社ピコモンテ・ジャパンの株式を追加取得したことにより、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出△300,000千円があったこと等によるものであります。

(参考)　キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年９月期	2023年９月期	2024年９月期	2025年９月期	2026年９月期
自己資本比率（%）	39.9	40.8	45.6	45.5	42.8
時価ベースの自己資本比率（%）	36.7	42.3	50.0	74.8	76.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	15.6	162.6	5.7	5.5	4.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	14.2	1.1	26.0	21.2	16.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注）１．株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。

２．キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

３．有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうちの利子を支払っているすべての負債を対象としております。

（４）今後の見通し

為替の円安傾向が継続し、市中金利が上昇するなど外部環境は厳しかったものの、引き続き収益性を重視した商品企画や、粧美堂ブランドの価値向上に伴うＮＢ商品の強化が結実した結果、高い利益成長を継続し、６期連続の増収増益を達成するとともに、昨年度に引き続き最高益を更新することができました。また、ここ数年進めてきた重点販売先やライセンサーとの紐帯強化により、人気キャラクターの専売品を大手ディスカウント店向けに独占的に供給する機会を獲得するなど、業界における当社の存在感が一段と増していることに大いに手応えを感じております。

上述のように、利益率にこだわった商品企画や営業体制の構築、成果主義に基づく人事評価制度の導入などにより、過去６年間で利益率も大幅に改善し、大きな成果を上げることができましたが、今後は利益重視の考え方を継続しつつも、売上高の拡大に力を注いでまいります。例えば、2026年９月には当社として11年ぶりとなるテレビコマーシャルに人気アイドルグループのタレントを起用し、ＳＮＳや店頭と連動した大型プロモーションを実施いたしました。また、ＥＣビジネスについては、人気インフルエンサーとタイアップした商品や、熱量の高いファンに向けてアニメキャラクターとコラボレーションしたカラーコンタクトレンズなどを上市し、売上拡大につなげております。

社内では、私たち粧美堂が目指すべき姿としてAgility Driven Company（変化をどこよりも早く捉え判断し具現化する会社）になることを社員に説き、意識改革を促しております。また売上高拡大のための新しいスローガン「深化×探索」を全社員に対して発信いたしました。「深化」とは日本の小売業界の各カテゴリーの有力企業である重点お取引先を、またはメイクツール、キャラクター商材、キッズコスメといった当社が強みを持つ重点商品カテゴリーを引き続き徹底的に深掘することです。一方で「探索」とは当社の持っている知見を新商品、新販路、新ビジネスに注ぎ込み、これからの成長のための新しい可能性を広げていくことです。この両方向への取り組みにより、ここ数年にわたる良い流れを止めることなく一層の収益基盤を強化しつつ、売上高の拡大を目指してまいります。

以上を踏まえ、通期の連結業績見通しについては、売上高25,000,000千円（対前期比6.2％増）、営業利益2,100,000千円（対前期比9.0％増）、経常利益1,980,000千円（対前期比6.6％増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,200,000千円（対前期比6.4％増）を見込んでおります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、国際会計基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、今後適切に対応していく方針です。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,729,946	5,491,467
電子記録債権	389,702	329,872
売掛金	3,280,379	3,301,776
有価証券	280,000	280,000
商品	2,236,051	2,110,329
貯蔵品	241,198	194,076
為替予約	625,622	555,050
その他	379,392	399,320
貸倒引当金	△3,379	△3,404
流動資産合計	12,158,913	12,658,489
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	784,848	827,233
土地	1,246,093	1,246,093
その他（純額）	109,793	144,800
有形固定資産合計	2,140,736	2,218,128
無形固定資産		
のれん	19,992	11,107
その他	99,690	97,667
無形固定資産合計	119,683	108,774
投資その他の資産		
投資有価証券	1,465,115	1,220,510
退職給付に係る資産	214,377	366,146
その他	227,824	333,835
貸倒引当金	△5,393	△5,496
投資その他の資産合計	1,901,924	1,914,996
固定資産合計	4,162,344	4,241,899
資産合計	16,321,257	16,900,388

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	357,031	274,542
買掛金	1,047,828	977,404
未払金	645,070	1,023,965
短期借入金	1,400,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,478,984	1,430,496
未払法人税等	470,162	212,677
契約負債	52,992	54,683
賞与引当金	185,000	180,000
違約金損失引当金	―	59,335
その他	322,700	245,508
流動負債合計	5,959,770	5,858,614
固定負債		
長期借入金	2,193,879	3,062,510
繰延税金負債	158,197	183,132
役員退職慰労引当金	161,310	156,750
資産除去債務	32,746	68,199
その他	4,730	6,683
固定負債合計	2,550,863	3,477,274
負債合計	8,510,633	9,335,889
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	147,983
利益剰余金	6,039,594	6,741,270
自己株式	△81,071	△831,293
株主資本合計	6,768,336	6,603,459
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137,781	154,147
繰延ヘッジ損益	396,587	328,464
為替換算調整勘定	115,683	148,971
その他の包括利益累計額合計	650,052	631,584
非支配株主持分	392,235	329,455
純資産合計	7,810,624	7,564,499
負債純資産合計	16,321,257	16,900,388

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
売上高	22,122,189	23,548,004
売上原価	15,058,032	15,524,085
売上総利益	7,064,156	8,023,919
販売費及び一般管理費		
販売促進費	772,039	943,842
物流費	1,292,773	1,407,702
貸倒引当金繰入額	20	128
給料手当及び賞与	1,375,526	1,449,021
賞与引当金繰入額	217,100	180,000
退職給付費用	11,741	△121,898
役員退職慰労引当金繰入額	12,680	19,728
その他	1,912,789	2,218,957
販売費及び一般管理費合計	5,594,670	6,097,482
営業利益	1,469,486	1,926,436
営業外収益		
受取利息	20,295	22,707
受取配当金	4,144	4,966
受取手数料	8,946	7,775
不動産賃貸収入	9,722	9,707
保険解約返戻金	―	13,040
為替差益	25,319	―
その他	4,410	4,165
営業外収益合計	72,839	62,362
営業外費用		
支払利息	38,903	74,439
為替差損	―	48,655
出資金評価損	14,545	―
その他	10,801	8,420
営業外費用合計	64,250	131,515
経常利益	1,478,074	1,857,283
特別利益		
関係会社株式売却益	64,562	―
特別利益合計	64,562	―
特別損失		
違約金	―	73,278
特別損失合計	―	73,278
税金等調整前当期純利益	1,542,636	1,784,005
法人税、住民税及び事業税	602,442	518,189
法人税等調整額	△85,325	32,581
法人税等合計	517,116	550,770
当期純利益	1,025,520	1,233,234
非支配株主に帰属する当期純利益	47,611	105,083
親会社株主に帰属する当期純利益	977,908	1,128,151

連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
当期純利益	1,025,520	1,233,234
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49,784	16,366
繰延ヘッジ損益	146,826	△68,123
為替換算調整勘定	△21,221	33,288
その他の包括利益合計	175,390	△18,468
包括利益	1,200,910	1,214,765
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	1,153,299	1,109,682
非支配株主に係る包括利益	47,611	105,083

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年10月１日　至 2025年９月30日)

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	545,500	264,313	5,372,114	△81,071	6,100,856
当期変動額					
剰余金の配当			△310,428		△310,428
親会社株主に帰属する当期純利益			977,908		977,908
自己株式の取得					―
自己株式の処分					―
連結子会社株式の取得による持分の増減					―
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	―	―	667,480	―	667,480
当期末残高	545,500	264,313	6,039,594	△81,071	6,768,336

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	87,996	249,761	136,904	474,662	―	6,575,518
当期変動額						
剰余金の配当						△310,428
親会社株主に帰属する当期純利益						977,908
自己株式の取得						―
自己株式の処分						―
連結子会社株式の取得による持分の増減					344,624	344,624
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	49,784	146,826	△21,221	175,390	47,611	223,001
当期変動額合計	49,784	146,826	△21,221	175,390	392,235	1,235,105
当期末残高	137,781	396,587	115,683	650,052	392,235	7,810,624

当連結会計年度(自 2025年10月１日　至 2026年９月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	545,500	264,313	6,039,594	△81,071	6,768,336
当期変動額					
剰余金の配当			△426,475		△426,475
親会社株主に帰属する当期純利益			1,128,151		1,128,151
自己株式の取得				△761,400	△761,400
自己株式の処分		12,806		11,178	23,985
連結子会社株式の取得による持分の増減		△129,136			△129,136
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	―	△116,330	701,675	△750,221	△164,876
当期末残高	545,500	147,983	6,741,270	△831,293	6,603,459

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	137,781	396,587	115,683	650,052	392,235	7,810,624
当期変動額						
剰余金の配当						△426,475
親会社株主に帰属する当期純利益						1,128,151
自己株式の取得						△761,400
自己株式の処分						23,985
連結子会社株式の取得による持分の増減					△170,863	△300,000
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	16,366	△68,123	33,288	△18,468	108,083	89,614
当期変動額合計	16,366	△68,123	33,288	△18,468	△62,779	△246,124
当期末残高	154,147	328,464	148,971	631,584	329,455	7,564,499

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,542,636	1,784,005
減価償却費	224,417	248,152
のれん償却額	28,271	8,885
貸倒引当金の増減額（△は減少）	3,384	128
賞与引当金の増減額（△は減少）	30,612	△5,000
違約金損失引当金の増減額（△は減少）	―	59,335
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	12,680	△4,560
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△17,770	△151,768
受取利息及び受取配当金	△24,439	△27,674
支払利息	38,903	74,439
関係会社株式売却益	△64,562	―
出資金評価損	14,545	―
保険解約返戻金	―	△13,040
違約金	―	73,278
売上債権の増減額（△は増加）	△243,181	39,675
棚卸資産の増減額（△は増加）	△196,826	172,843
未収入金の増減額（△は増加）	24,398	△18,461
仕入債務の増減額（△は減少）	△326,724	△107,286
未払消費税等の増減額（△は減少）	83,209	△60,666
未払金の増減額（△は減少）	121,833	200,298
その他	△29,312	△59,940
小計	1,222,075	2,212,644
利息及び配当金の受取額	27,750	26,888
利息の支払額	△43,223	△83,003
保険解約返戻金の受取額	―	13,040
法人税等の支払額	△311,214	△769,720
法人税等の還付額	22,615	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	918,003	1,399,849
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△101,437	△167,571
無形固定資産の取得による支出	△79,826	△20,666
投資有価証券の取得による支出	△495,252	―
投資有価証券の償還による収入	220,000	280,000
差入保証金の差入による支出	―	△100,726
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	329,902	―
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	344,982	―
その他	△3,967	786
投資活動によるキャッシュ・フロー	214,402	△8,177

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△350,000	―
長期借入れによる収入	1,700,000	2,500,000
長期借入金の返済による支出	△1,546,280	△1,679,857
自己株式の取得による支出	―	△761,400
配当金の支払額	△310,407	△426,260
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	―	△300,000
その他	△1,057	3,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△507,744	△664,517
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20,595	34,365
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	604,065	761,520
現金及び現金同等物の期首残高	3,725,881	4,329,946
現金及び現金同等物の期末残高	4,329,946	5,091,467

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

（連結貸借対照表関係）

前連結会計年度において、「流動負債」の「その他」に含めていた「未払金」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「その他」に表示していた967,771千円は、「未払金」645,070千円、「その他」322,700千円として組替えております。

（企業結合等関係）

（共通支配下の取引等）

（子会社株式の追加取得）

１．取引の概要

(1)結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称　　株式会社ピコモンテ・ジャパン

事業の内容　　化粧品ＯＥＭ・ＯＤＭ、化粧品輸入代行、化粧品自社商品販売、化粧品容器販売

(2)企業結合日

2026年１月26日（みなし取得日2026年１月１日）

(3)企業結合の法的形式

非支配株主からの株式取得

(4)結合後企業の名称

変更ありません。

(5)その他取引の概要に関する事項

追加取得した株式の議決権比率は18.0％であり、当該取引により当社の株式会社ピコモンテ・ジャパンに対する議決権比率は70.0％となりました。当該追加取得は、化粧品の企画・調達面の強化、加えて他カテゴリーでのノウハウの拡大についてより一層の連携の強化を図るために行ったものであります。

２．実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　2019年１月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号　2019年１月16日）に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理しております。

３．子会社株式の追加取得に関する事項

結合当事企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	300,000 千円
取得原価		300,000 千円

４．非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項

(1)資本剰余金の主な変動要因

子会社株式の追加取得

(2)非支配株主との取引によって減少した資本剰余金の金額

129,136千円

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

１．報告セグメントの概要

当社グループは、化粧品、化粧雑貨、服飾雑貨、キャラクター雑貨及びコンタクトレンズ関連等の商品を幅広く取扱っており、これらの商品を小売業者、卸売業者等へ販売しております。取扱い商品は多種多様でありますが、商品の調達方法及び販売方法等については概ね同一であることから単一の事業セグメントとすることが、過去の業績を理解し、将来キャッシュ・フローの予測を適切に評価でき、事業活動の内容及び経営環境に関して適切な情報提供につながると判断できるため、単一の報告セグメントとしております。

この報告セグメントは、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するため、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

２．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

当社グループは、報告セグメントが単一であるため、記載を省略しております。

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当社グループは、報告セグメントが単一であるため、記載を省略しております。

４．報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当社グループは、報告セグメントが単一であるため、記載を省略しております。

(関連情報)

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

１．商品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	化粧品	化粧雑貨	コンタクトレンズ関連	服飾雑貨	その他	合計
外部顧客への売上高	8,850,388	6,976,972	2,244,395	2,792,328	1,258,104	22,122,189

２．地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

３．主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント名
株式会社セリア	2,996,073	―
株式会社ドン・キホーテ	2,569,708	―

(注) 当社グループは単一セグメントであるため、関連するセグメント名の記載を省略しております。

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

１．商品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	化粧品	化粧雑貨	コンタクトレンズ関連	服飾雑貨	その他	合計
外部顧客への売上高	9,574,163	6,967,299	2,195,098	3,199,853	1,611,590	23,548,004

２．地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

３．主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント名
株式会社セリア	3,019,285	―
株式会社ドン・キホーテ	2,766,243	―

(注) 当社グループは単一セグメントであるため、関連するセグメント名の記載を省略しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

のれんの償却額は28,271千円、未償却残高は19,992千円であります。

当社グループの報告セグメントは単一であるため、報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報は記載しておりません。

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

のれんの償却額は8,885千円、未償却残高は11,107千円であります。

当社グループの報告セグメントは単一であるため、報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報は記載しておりません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

該当事項はありません。

（１株当たり情報）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり純資産額	561.58円	572.51円
１株当たり当期純利益	74.03円	87.49円

（注）１．潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
２．１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	977,908	1,128,151
普通株主に帰属しない金額(千円)	―	―
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	977,908	1,128,151
普通株式の期中平均株式数(株)	13,209,773	12,893,940

（重要な後発事象）

該当事項はありません。